

システムモール2009開催



平成21年8月25日(火)、札幌コンベンションセンターにおきまして、「システムモール2009」を開催いたしました。今年で7回目の開催となり、これもひとえにユーザー様のご支援の賜物と社員一同心より感謝しております。

今回は、基調講演に株式会社植松電機専務取締役、株式会社カムイスペースワークス代表取締役植松 努様をお迎えし、「思うは招く～夢があればなんでもできる～」と題しお話を頂きました。

また、システム展示会も協力会社様のご協力により同時開催され、当日は大変お忙しい中100名を越すお客様にご来場いただきました。

来年も「システムモール2010(仮称)」の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

■基調講演

『思うは招く～夢があればなんでもできる～』

株式会社植松電機専務取締役

株式会社カムイスペースワークス代表取締役

植松 努様

■業務システム勉強会

『 公営企業会計システム 』

『 確定申告支援システム 』

『 公営住宅管理システム住まいるシリーズ 』

■システム展示会

『 《上下水道事業対応》固定資産管理システム 』

株式会社ホクスイ設計コンサル様

『 インターネット議会中継システム 』

アートシステム株式会社様

『 顔の見える直売所POSシステム 』

株式会社美唄未来開発センター様

『 Microsoft Windows7 』

ダイワボウ情報システム株式会社様

マイクロソフト株式会社様

『 公営住宅管理システム『住まいる7』 』

システムバンク株式会社



基調講演の様子



展示会の様子



勉強会の様子

ニューリリース情報

弊社では、平成22年3月に公営企業会計システム「PASS7」、同年4月に資産管理システム「万財7」をリリースいたします。

「PASS7」はWindows7、Windows Server 2008にも対応しています。帳票をすべてエクセルで出力することができるようになり、複数事業の会計を1つのシステムで管理できる複数事業管理や、ご担当者様が簡単自由に伝票雛型を登録できる伝票テンプレート機能など、従来のシステムより性能が更に強化されております。また、決算統計機能や予算編成システムなどオプション機能も充実しております。

「万財7」では、従来の公有財産管理だけではなく、金融資産、有形固定資産など必要な科目(資産)を網羅し、資産評価の計算を装備した公会計対応版システムとなっております。

詳細に関するお問い合わせは下記の通りです。下記のいずれかの方法で受け付けております。

■お問い合わせ先

システムバンク株式会社 営業部 TEL.011-219-2161 FAX.011-219-2152 メールアドレス: eigyo@sbn.co.jp

社長コラム 新公会計制度整備に向けて、目的と現状

昨年に続き……改正について、私の考え方を寄稿することになりました。

昨年は、公営住宅法の改正について、大変難しい改正です、従って出来るだけ早い段階で改正に向け用意をしましょうという趣旨で原稿を書き、また社としても改正について広報活動を行いました。

研究会を開催しようと各自治体の担当者に声をかけたところ、約60団体の皆様に賛同をいただき、5月に札幌で実施いたしました。スタートは結構速かったんですが、その後遅々として作業や方向性が固まらず、システムを提供する側として正しい仕様が定まらず、ストレスの溜まる一年でした。

さて、今年はどうと、3年ほど前から総務省が目指している新公会計改革にスポットを当ててみました。

某市の財政破綻により、一気に注目を浴びている分野ではありますが、少なくとも心ある首長のいる自治体では早くから、せめて貸借対照表くらいは整備すべきであると、取り組んできたことと思われます。しかし多くの自治体においては、ここ100年おらが町の財務状況がどうなっているのか、よくわからない状態で、その上住民からは何の批判も聞こえてこないという変な話が続いています。

税金を課税し、徴収するシステムはまことに精緻に作られています。しかし、税金を投入して行った事業に関し、現在・過去・未来にどんな結果を予想できるか、どうして今この負担を強いられているのか？孫子の代になぜ負担を先送りしているのか…などチェックしなければいけない事がたくさんあるのに、参考資料がない。求めに応じて出てくるものなのかどうか分からない。

日本の国民は、“お上のやることは正しい”、“間違ったことをやるわけがない”とも思っているのでしょうか？それとも“声を上げてどうせ……”って感じなのでしょう。消費税が導入され乳幼児から年寄りまで納税者になった今、国民は委託した税金が付託者によりどう使われているか、そして、どんな形で残っているのか知る権利を有していると同時に、今まで以上に厳しい目でチェックする必要があると思います。

答えの一つが総務省が進めている公会計制度整備(財務改革)であろうと考えています。具体的な目標は以下にあげる5点であると新地方公会計制度研究会報告書(平成18年5月発)では結論付けています。

- ① 資産・債務管理(どれだけの資産があり、どれだけの債務がいつまであるのか)
- ② 費用管理(いわゆる入ってきた金と、それを何に使ったか)
- ③ 財務状況のわかりやすい開示
(上記をわかりやすく住民に向け開示する。わかりやすい＝一般的な財務書類を使用)
- ④ 政策評価・予算編成・決算分析との関連付け(一般的な財務処理をすることで、分析手法などの利用)
- ⑤ 地方議会における予算・決算審議での利用
(開始B/Sが年度末の予定B/Sでどう変わるのか、その経緯が予算である)

更にこれらを実現するために民間の財務手法である複式簿記システムを取り入れ、財務諸表(貸借対照表・純資産変動計算書・資金収支計算書・行政コスト計算書・等々)を整備し、それをもって住民に開示しましょう、としています。また、その時期を平成23年度(人口3万以上は平成21年度)に求めています。ということは平成22年度決算状況を複式簿記に置き換え財務諸表を作成開示しなければならず、そのための開始貸借対照表は平成21年度末の状況をまとめなければなりません。今年です！まず今年度末の状況で資産台帳を完成し、資産の評価方法や公正価値とはどうあるべきか、償却に関するルールなどを定め、さらに、起債台帳等の債務台帳などから債務を明らかにし、開始貸借対照表を作成しなければなりません。果たして用意は進んでいるのでしょうか？

3回にわたる総務省からの実施要請、そして財務書類の作成要領(平成19年発行)や資産評価の実務手引きなどの解説書の作成(平成20年の発行)、また法【簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律(平成18年発)】により、“資産と債務に関する改革の方向性と具体的な施策を策定することを平成21年度中に実施すること”と規定されていることなどを考えると、用意しなければ……などという段階ではないといえるでしょう。庁舎内の啓蒙やルールの決定を行い、資産・債務の調査を行い、現状を分析して、改革の方向性を検討し、具体的な施策を策定していなければならない時期にきています。

役所財務担当職員の皆さん、適当にお茶を濁して済むような事案ではないですよ。あなたも納税者の一人としてわが自治体の財政状況を厳しくチェックする立場でもあるわけで、もし財務改革が進んでいないようであれば、望んで改革のリーダーとなってください。

少し遅きに失していると感じつつも、これらのことを踏まえ弊社は来年2月完成・4月リリースに向け資産管理システムの開発を行っています。本システムは各自治体の資産の登録・評価・公正価値の決定・減価償却計算を行い、資産の現在価値を把握しましょうというもので、公会計改革の入り口で、どうしても整理しなければならない第一歩であると考えています。

弊社は資産の調査・登録・評価するところまでを一貫してサポートできるようにと考え、その第一段階としてシステム開発を行っています。平成22年度は財政担当部署においては、まさに正念場になる大変な一年になるのではと思います。本案件で疑問、質問、提案があればいつでも承れるよう用意しておりますので、ぜひたくさんのお声を聞かせいただきたく、よろしくお願いたします。

システムバンクは今後とも皆様にとって力強いパートナーになれるよう鋭意努力してまいります。

システムバンク株式会社 代表取締役 城 克幸

■お問い合わせ先

システムバンク株式会社 城 克幸 TEL.011-219-2161 FAX.011-219-2152 メールアドレス: jo@sbn.co.jp

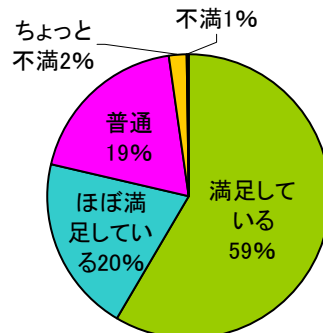
お客様アンケート結果

弊社では、お客様が弊社のパッケージシステムをご使用していただくにあたり不満や不便がないか、マニュアルに不備はないか、また弊社社員の対応は満足のものか等の調査を顧客アンケートとして定期的に行っております。回収した結果は今後の検討事項とし、社内及び各担当部署で話し合いを行い、より良い評価をいただけることを目標に使用させて頂いております。

営業部門

評価内容

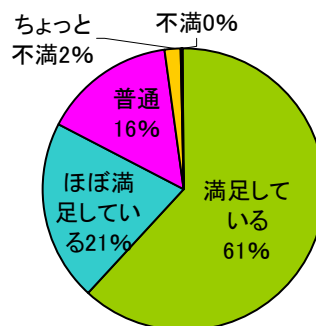
- ◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
- ◇システム・価格・納期などを明快に説明しているか
- ◇お客様からの要求事項を正しく理解しているか
- ◇お客様に対する提案力(知識や動向、技術情報)について
- ◇進捗管理(進捗状況の把握・報告と遅れへの対応)
- ◇約束した事項の実行・納期の遵守について



開発部門

評価内容

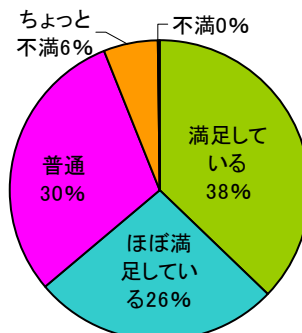
- ◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
- ◇システムの機能、例外、操作などを明確に説明しているか
- ◇お客様からの要求事項を正しく理解し、対応しているか
- ◇当該業務知識・コンピュータに関する知識・信頼の度合
- ◇お客様に対する情報提供(動向・技術情報)について
- ◇約束した事項の実行・納期の遵守について



システム/プログラム部門

評価内容

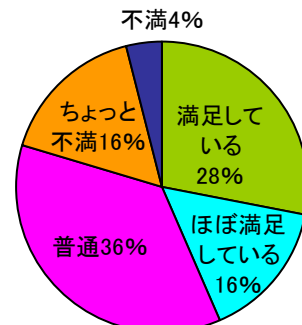
- ◇機能(お客様が要求している事項への適合度)
- ◇性能(処理速度・応答速度)
- ◇精度(処理結果・表示数値等)
- ◇信頼性(不具合等で停止することがないか)



マニュアル部門

評価内容

- ◇取扱説明書全体の使いやすさ、わかり易さ
- ◇取扱説明書でこの処理機能をわかりやすく説明しているか
- ◇設計資料等のわかり易さ



顧客アンケート調査は今年で無事8年目を迎えることができました。

アンケートにご協力いただいた自治体担当者様、販売会社の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

本年も昨年と同様、全体評価80%(ほぼ満足以上)の目標を達成することができました。昨年と比べ評価は全体的に上昇しており、今後もこの状態を維持・向上させることに努めて参ります。

今後も、お客様より頂いたご意見を基により良い製品・サポート対応・情報提供に心がけて参りますので、今後とも何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。

弊社システムラインナップ

弊社にて自社開発しております、メインの6つのパッケージシステムをご紹介します。住まいる7、万財-BANZAI、法人-NORITO、水仙-SUISEN、PASSについては自治体様向けのシステムであり、セルヴィスについては病院看護師様向けのシステムとなっています。詳細はWebサイト(<http://www.sbn.co.jp>)、もしくは弊社営業までメール(eigyos@sbn.co.jp)かお電話でお気軽にご連絡下さい。



公営住宅管理システム「住まいる7」 new!!

平成5年の発売以来、現在全国140の地方公共団体に導入していただいた住まいるシリーズ。おかげさまで数多くのバージョンアップを経て、『住まいる7』が完成いたしました。

「住まいる7」は従来のCS運用型のシステムからWebアプリケーションになり、OSにとらわれないシステムとなっています。機能に関しても、従来のシステムからより強化されています。



公有財産管理システム「万財-BANZAI」

行政改革の進む昨今、市町村合併に伴う公有財産の管理部署負担の爆発的増加が大変問題になっています。一例として、合併する地方公共団体の各管理台帳を一枚一枚すべて書き直したり書き足したりしなければならない、期中異動分の大幅な増加やその他を反映させる統計資料や調書などすべて作成しなければならない、更にすべてミスなく行わなければならない等といった問題です。

また、合併後は通常の業務でも、管理すべき公有財産の拡大によって、自ずと公有財産の管理部署での負担増が大きな問題になります。そうした業務負担を大幅に軽減するのが公有財産管理システム「万財-BANZAI」です。



法人住民税システム「法人-NORITO」

地方公共団体において、法人住民税業務は、ほとんどが手作業で集計処理しているのが現状です。本システムでは、各法人または税理士から申告される申告書を入力することにより、その入力データを基にした調定・収納・統計資料作成までの一連の業務をフルサポートしています。

当然、未申告法人の管理、延滞金管理、加算金管理や、歳入・歳出の自動判定などわずらわしい処理を自動化することにより、担当者が情報を柔軟に活用できる仕組みとなっています。このシステムは、基幹業務との連携等を考えずに、単独での稼動が可能のため、システム環境面でも他のシステムとの相性を問わず導入可能なシステムです。



上下水道料金システム「水仙-SUISEN」

上下水道料金システム「水仙-SUISEN」は検針・調定・収納の3つのシステムで構成されているため、各地方公共団体で制定される条例にも柔軟に対応できるシステムになっています。市町村合併対応はもちろんのこと、簡易水道、農業集落排水等の管理も区分をわけることによりスムーズに処理することが可能です。また、弊社公営企業会計システム(PASS)を導入することにより、調定・収納データの連携が可能となります。



公営企業会計システム「PASS」

公営企業会計システムは伺い伝票入力、支出負担金行為の入力、仕訳伝票の入力と事務の流れに沿っての伝票管理が可能です。また、合計残高試算表・総勘定元帳・予算執行状況表等の管理資料において計算ミスや転記ミスがなくなり、すばやく正確な資料作成が可能となります。

システム導入により、事務作業の省力化を図ると同時に、作業の標準化が行われるため、管理資料の体系化が可能です。また、これにより担当者の異動時に伴う業務の引き継ぎがスムーズになります。

過年度のデータ検索が、年度指定のみで簡単に照会できます。これにより、過去の会計事業内容が把握でき高い管理効果が得られます。

- ・消費税申告書関係資料が作成できます
- ・予算編成時期における予算要求書および見込合計残高試算表等の資料が作成できます。
- ・決算統計とのデータ連携ができます。



看護師勤務表作成システム「セルヴィス」

「セルヴィス」は、今まで手作業で時間のかかっていた勤務表の作成を、パソコンで迅速に、しかも正確に行うためのソフトウェアです。スタッフを登録すれば、あとは簡単。勤務条件を設定してボタンをクリックすると、セルヴィスが最適な勤務表を作成します。条件は、資格やチームなどのグループ別の組み合わせのほか、スタッフとスタッフの組み合わせも可能です。「夜勤が続かないように」「ひと月の中で勤務が分散するように」など、これまで頭の中で考えていたことと同じように、勤務の条件をきめ細やかに設定できます。

「セルヴィス」には、弊社が長年培ったアルゴリズムエンジンをさらに進化させた「新遺伝的アルゴリズムエンジン」が搭載されており、この技術により、設定した条件に合致するよりよい勤務表が作成できるようになりました。

編集後記

今回はじめて会報誌を担当します。もしかしたら今後ずっと担当させられるのでは・・・？なんて思いがよぎります。

さて、このシステムバンク通信は、毎年11月頃から作り始めています。11月はわたしの誕生日でもあるのですが、毎年11月は楽しいこと、いいことばかりがあるように思います。今年の11月は、今までで一番運が良かったです。ホームページに掲載した通り、11月には観楓会があったのですが、ボーリングでは人生初！スコア130を記録し、ビンゴゲームではWii本体が当たったの・・・この調子でいくと宝くじも当たるかも！？なんて調子に乗っている次第です。

そんな中・・・会社の入り口にはクリスマスツリーが飾られました。朝から晩までびかびか光っております。かわいいです。こっそりオーナメントを増やしちやおうかしら・・・なんていたずら心も沸きますね。皆様も良い年末を！（A・N）

